

平成25年10月28日

**広島大学総合博物館第7回企画展「広島大学のチカラ
ーリサーチ・ユニバーシティの研究最前線ー」の開催について**

広島大学総合博物館では、第7回企画展「広島大学のチカラーリサーチ・ユニバーシティの研究最前線ー」を下記のとおり開催いたします。

知識経済化が急速に進む今日、大学にはこれまで以上に研究の活性化とそれによる社会への貢献が求められています。特にグローバル化に伴い、大学の研究は熾烈な国際競争の渦中にあり、広島大学も世界トップレベルの研究大学を目指して、日夜研究に取り組んでいるところです。

本企画展では、本年8月に本学が文部科学省の「研究大学強化促進事業」の支援対象に選ばれたのを機に、「研究とはなにか」をもう一度見つめ直し、本学の研究動向を俯瞰し、その最前線を紹介し、さらにはこれからの方向を展望します。

なお、本企画展示は平成26年度にも続編を計画しており、人文社会系にスポットを当てた紹介を行う予定です。

記

【日時】平成25年11月2日(土)～16日(土) 10:00～17:00(入場は16:30まで)

※日・月曜日休み(11月3日(日)を除く)

【場所】広島大学東広島キャンパス 学生プラザ 1F(総合科学部北側)

【内容】

特に優れた研究を行う教授職(DP)の研究を紹介する展示のほか、本学から誕生した日本学士院賞受賞者や世界に誇る研究施設、未来を支える若手研究者の取り組みを紹介します。

また、以下の日時においては、研究者による講演会や施設見学会も行います。

○11月9日(土) ①フィールドナビ「広島大学が誇る！日本鶏資源開発プロジェクト研究センター 施設見学」<要申込：定員各回20人>
(第1回目 9:30～10:30、第2回目 10:30～11:30：大学会館前バス停集合)

②公開講演会「広島大学学術標本共同資料館 オープニング
記念講演会&施設見学会」
(13:30～15:30：先端物質科学研究科 401N)

○11月15日(金) 「ミュージアムカフェ」 講師：隠岐さや香(DP)

<要申込：座席数50席>

(18:00～19:30：la place(マーメイドカフェ広島大学店))

【お問い合わせ先】

広島大学総合博物館

TEL:082-424-4212

FAX:082-424-4263

広島大学総合博物館【第7回企画展】

広島大学のチカラ

リサーチ・ユニバーシティの研究最前線

日時 平成25年11月2日(土)～11月16日(土)

10:00～17:00(入場は16:30まで) ※日・月休み[11月3日(日・祝)をのぞく]

会場 広島大学東広島キャンパス

【学生プラザ1F】 JR西条駅前から「広島大学」行バス乗車(所要時間15分)
「広大中央口」下車徒歩7分
(総合科学部 北側)

知識経済化が急速に進む今日、大学にもこれまで以上に研究の活性化とそれによる社会への貢献が求められています。特にグローバル化にともない、大学の研究は熾烈な国際競争の渦中にあり、広島大学も世界トップレベルの研究大学をめざして、日夜研究に取り組んでいます。

本企画展では、この度広島大学が文部科学省の「研究大学強化促進事業」の支援対象に選ばれたのを機に、「研究とはなにか」をもう一度見つめなおし、本大学の研究の動向を俯瞰し、その最前線を紹介し、さらにこれからの方向を展望しようとするものです。

研究を紹介する展示のほか、研究者によるミュージアム・カフェや施設見学会を実施します。

展示内容



[ゾーン1]
高い峰々へのいざない—
日本学士院賞受賞者

学術上特にすぐれた論文、著書その他の研究業績に対して授与される「日本学士院賞」。広島大学から誕生した7人の受賞者の研究についてご紹介します。



[ゾーン3]
世界に挑戦する
研究拠点のチカラ

広島大学には研究活動をさらに発展させるための様々な特色ある研究施設があります。研究科の研究活動と緊密な連携を図って世界的レベルの研究を展開する拠点をご紹介します。



[ゾーン4]
瞳は未来へ—
期待される若手研究者のチカラ

広島大学では、実践的で幅広い知識を身につけ、新分野に挑戦する活力ある若手研究者を支援しています。未来を支える研究者たちの取り組みをご紹介します。

18世紀における
科学の専門職業化の
歴史解明

病理学的視野から
がんの診断・治療の
先進医療開発

広大発、
国際標準モデル。
次世代トランジスタ
モデルの開発

世界をリードする被爆地・
広島での放射線発がんの
最先端研究

[ゾーン2]

ビッグバン直後の
一瞬を再現。
人類普遍の謎に挑む
最先端研究

広大が誇る 研究のプロフェッショナル 「DP」のチカラ

特に優れた研究を行う教授職「DP」(Distinguished Professor)。
研究を通じて見えてくる様々な世界と
その成果をご紹介します。

「シティズンシップ教育」を
通じた人材育成

海洋プラシクトンの
動態解明から
海洋立国日本の
里海再生を目指す。

環境への
負荷を減らす
有機電子材料の
開発

肝炎ウイルスの
根絶にむけて世界を牽引

先端バイオの
研究で
アスベストを
見える化

スペシャルイベント!

Special Event!!

ミュージアム・カフェ

要申込

11月15日(金) 18:00~19:30

●ナビゲーター
隠岐さや香 総合科学研究科准教授、広島大学DP
平成24年度日本学士院学術奨励賞受賞

●会場:東広島キャンパス ラ・プラス
●座席数:50席 (マーメイドカフェ広島大学店)
●申込方法:メールでお申込み下さい。
✉ hirog@hiroshima-u.ac.jp
※当日参加可、ただし座席数に限りがあります。



Bienvenue au café de musée

科学の役割は社会においてどのように変化してきたのか?芸術と科学、どちらが役立つと思われていたのだろうか?18世紀フランスにおける科学者という職業の黎明期に迫ります。

科学者の黎明~ 18世紀のフランスを 舞台にした 科学の専門職業化の 歴史を紐解く

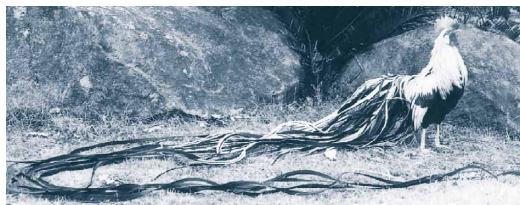


フィールドナビ 11月9日(土) ① 9:30~10:30 ② 10:30~11:30

広島大学が誇る! 日本鶏資源開発プロジェクト 研究センター 施設見学

要申込

入場無料



●ナビゲーター: **都築政起**
(日本鶏資源開発プロジェクト研究センター長、
生物園科学研究科教授)

●集合場所: **広島大学学生会館前バス停**

●定員: **40名(①・② 20名ずつ)**

●申込方法: **メールでお申込み下さい。**

✉ hirog@hiroshima-u.ac.jp ※班分けは、当方が行います。

※防疫の関係で海外から帰国後1週間以内の方、1週間以内に他の鶏舎に立ち入った方のご参加はできません。

日本は、知る人ぞ知る世界に冠たる「ニワトリ王国」です。我が国の保有するニワトリ、日本鶏の種類(品種)は多種多様で、その数は全世界のニワトリ品種のおよそ20%を占めます。生物多様性、食料安全保障、日本文化の継承を目的に、広島大学日本鶏資源開発プロジェクト研究センターは世界屈指の種類の日本鶏を飼育し、日夜、研究に取り組んでいます。この度は、特別にその施設内の見学会を実施します。

展示構成

- ゾーン1: 高き峰々へのいざない—日本学士院賞受賞者
- ゾーン2: 広大が誇る研究のプロフェッショナル—「DP」のチカラ
- ゾーン3: 世界に挑戦する研究拠点のチカラ
- ゾーン4: 瞳は未来へ—期待される若手研究者のチカラ

展示の目玉

- 日本学士院賞のメダル(ゾーン1)
- 海洋調査船豊潮丸の模型(ゾーン3)
- 広大が開発したシンチレータ飛跡検出器(ゾーン2)
- 広島大学が誇る蘚苔類コレクション(ゾーン3)
- エチゼンクラゲの実物大パネル(ゾーン2)
- 宇宙を旅してみよう!体験型シアター(体験コーナー)
- 国の天然記念物土佐の尾長鶏剥製(ゾーン3)

公共交通機関でお越しの場合

- ◎企画展会場/JR西条駅前から「広島大学」行バス乗車(所要時間15分)「広大中央口」下車徒歩7分
- ◎フィールドナビ/「学生会館」下車徒歩1分◎講演会会場/「広大中央口」下車徒歩5分
- ◎ミュージアム・カフェ会場/「広大中央口」下車徒歩5分

交通アクセス

車でお越しの場合

- ①番ゲートよりお入り下さい(他のゲートは入構カード専用です)。
- ※総合博物館へは教育学部周辺の駐車場が便利です。企画展会場へは総合科学部周辺の駐車場が便利です。
- ※お帰りはどのゲートからも出られます。

お問い合わせ

HUM 広島大学総合博物館
Hiroshima University Museum

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1 TEL082-424-4212 FAX082-424-4263
<http://home.hiroshima-u.ac.jp/museum/>
E-mail museum@hiroshima-u.ac.jp

●開館時間/10:00~17:00 (入館は16:30まで)
●休館日/毎週日・月曜日、祝日、年末年始

Hirog
Designed by T.Kiriyama



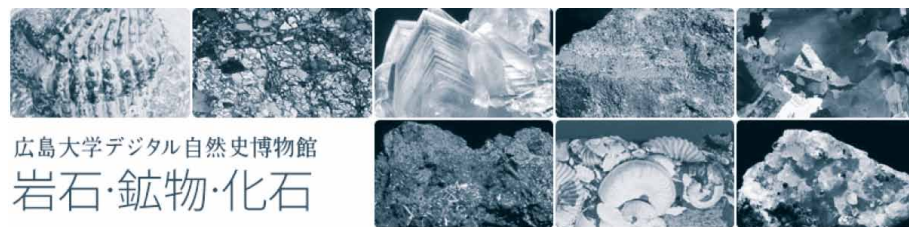
公開講演会 11月9日(土) 13:30~15:30

広島大学学術標本共同資料館 オープニング記念講演会&施設見学会

申込不要

入場無料

会場:広島大学東広島キャンパス先端物質科学研究科 4F 401N



広島大学デジタル自然史博物館
岩石・鉱物・化石

広島大学植物標本庫
Herbarium of Hiroshima University

広島大学には、戦前の前身校時代から引き継がれた数十万点を超す膨大な植物標本と文献資料が保管されています。この度、学術標本共同資料館の完成を記念してその歴史や機能を紹介するオープニング記念講演会を開催します。併せて植物標本庫や地質標本取蔵室の施設見学会も特別に実施します。

スケジュール

13:30~

- 出口博則** (広島大学特任教授)
「85年の歴史を紡ぐ広島大学植物標本庫—特色あるコケの研究とその資産」
- 山口富美夫** (理学研究科教授)
「広島大学デジタル自然史博物館と標本データベース」
- 嶋村正樹** (理学研究科助教)
「コケ研究最前線—ゼニゴケ研究」
- 早坂康隆** (理学研究科助教)
「広島大学地質標本取蔵室について」

14:30~

学術標本共同資料館施設見学

